



大和市立緑野小学校
学校だより 2月号

みどりの



令和3年1月29日

春に向かって

教頭 大谷 幸司

2月3日、立春を迎えます。立春は寒さが1番ピークの時期で、立春を迎えると寒さがだんだんと和らいでいくと言われています。創立50周年記念事業の一つとして10月に植えられた山桜のつぼみも越冬芽となり、寒い冬をじっと耐えながら春が来るのを待っています。

1月22日（金）の5、6校時に4年生、5年生が立候補し、来年度の運営委員を決める児童会役員選挙が行われました。今年の児童会役員選挙は、コロナ禍の中、大勢の児童が体育館に集まることができなかつたため、放送室で立候補者の演説が行われ、生放送で各教室に映像を流すとともに、投票する児童は、教室のテレビで演説を聞いて投票するという形をとって実施しました。立候補者は、とても緊張している様子でしたが、どの立候補者も「あいさつあふれる学校にしたい」「笑顔あふれる学校にしたい」「みんなが安心して過ごせる学校にしたい」など、立派に演説を行うと同時に、一つひとつの言葉に力がありました。さらに、学校をよくするためにみんなの意見を取り入れる工夫もあるなど、内容もしっかりとしていました。立候補者一人ひとりが堂々と演説したことに、この日を迎えるための準備や努力の跡が伺え、とても感心しました。

また、先日書初め（1、2年生は硬筆。3年生以上は毛筆。）が行われました。1年生「ともだち」という文章、2年生「くまさん」という文章、3年生「正月」、4年生「出発」、5年生「希望」、6年生「感謝」を書きました。一文字一文字、一画一画、止めや払いなどにも注意しながらいねいに書いており、廊下に掲示してある文字を見ると、子どもたち一人ひとりの「今年もやるぞ」という意気込みが伝わってきました。

昨年から、新型コロナウイルス感染予防のため、子どもたちが楽しみにしている行事が中止になったり、友だちとたくさん触れ合う機会が少なくなったりするなど、学校生活の中で活動が制限される日々が続いています。こうした状況の中、子どもたちが今できる行事や日々の学校生活に前を向いて一生懸命に取り組んでいる姿勢を感じ、たいへんうれしく思います。保護者の皆さまにおかれましても、2月に予定しておりました授業参観が中止になるなど、子どもたちの様子を見る機会が例年より失われてしまったことに深くお詫びを申し上げますとともに、いつも温かく見守ってくださり、たいへん感謝しております。

春に向けて、子どもたちは日々の活動に一生懸命取り組みながら、着実に、前に向かって成長しています。教職員一同、一日一日を大切にしながら、今年度のまとめと次年度に向けた準備をしっかりと行ってまいりたいと思います。引き続き、保護者及び地域の皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。